

# 造形通信

2026. 1月

N0.83

ひいらぎこども園

作品だなには 作品がいっぱい！



プレイルームにある大きな棚には、日ごとに作品が増えていました。おいたものつるで作ったリースの数もどんどん増えていました。教えてもらったり、教えてあげたりしてプレイルームでは、たくさんの作品が生まれました。そして、これからもたくさんの作品が生まれることでしょう。



つくる

つくる

つくる

楽しさ

かわいい絵馬  
みつけた！

段ボール紙の上に水彩絵の具やポスカで描くと、発色がよく表現しやすいのでお勧めです。



ケーキを作っています。毛糸をぐるぐるまいて、ケーキにのせるクリームの飾りを作っています。



黙々と自分で両面テープを用紙にはっています。自分で長さを考えて、しわにならないように上手に用紙にはっています。こんな細かい作業ができるんですね。



年長組の廊下で黙々と段ボールに色をつけています。「かば」を作っているそうです。どんな「かば」ができるのかな。



まつぼっくりに色を塗って、いろんな動物をつくっています。

子どもたちは「つくる」ことが大好きです。日頃から作ったものを一同に集めて今月 26 日から 31 日まで『みんなにじいろ展』が開催されます。それぞれの部屋では、思い思いに「つくる」活動が続いている。作品展にはどんな作品が並ぶのか楽しみですね。少しお部屋をのぞいてみました。



スズランテープを 3 つに分けて、机に固定し、長い三つ編みを作っています。できた7色のひもは虹を表しています。共同作品です。出来上がりが楽しめます。



れんげの部屋の前にかわいい馬の絵馬をみつけました。小さな足型を馬の顔に見立てて、目をつけると立派な馬に変身。たてがみがついて出来上がり。どれも表情が違って、楽しい絵馬の出来上がりです。かわいいです。れんげ組の前の廊下は、いろんな作品があって、とても楽しい空間です。



液状のりに水性のカラーペンで色を付けて伸ばします。乾いたら好きな形に切っていきます。面白い作り方ですね。何ができるのかな？



自分で動物が出てくる絵本を作っています。



「つくる」楽しさを十分に味わっている子どもたちですが、いろいろな人が作った作品を「みる」こともまた違った楽しさがあります。自分とは違う人がどんなことを思って作ったのか想像しながら見たり、ついた人にいろいろ尋ねて話してみたりするのもまた楽しいものです。作品を通して、コミュニケーションが広がったり、想像力が広がったりすることが作品展の楽しさですね。26日からの『にじいろ展』が楽しみです。